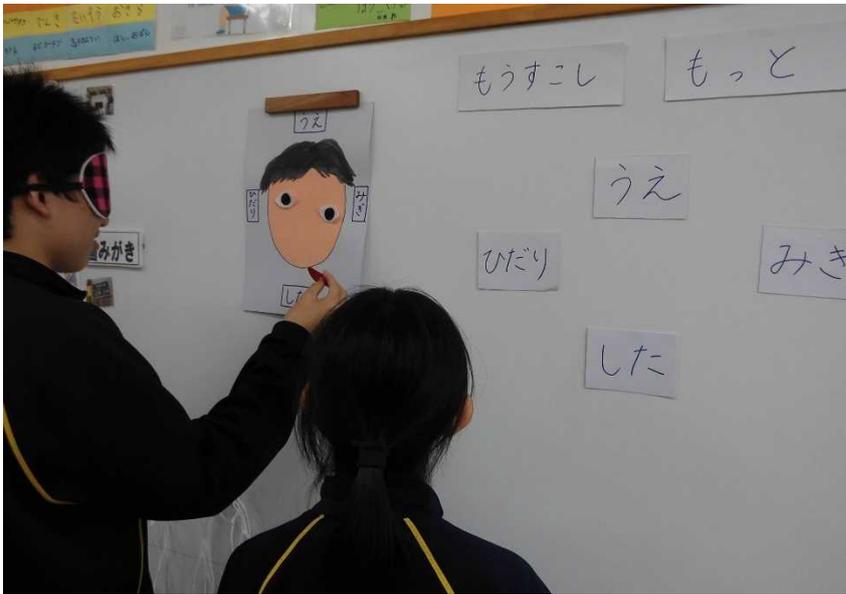


教材名	福笑い
自立活動の区分	コミュニケーションのとり方の勉強：いろいろな場面で相手に思いを伝える。
教材のねらい	相手に伝わるように指示を出すことができる。 指示を聞いて体を動かすことができる。
使用した学年	中学部2年生
教材・教具の写真	
	
使用方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・二人一組になって、一人が目隠しをして、もう一人が指示を出す。 ・目隠しした生徒が、顔のパーツを正しく置けるようにペアの生徒が「右だよ」、「下だよ」などと指示を出して協力して行う福笑い。 	
教材の有効性（おすすめポイント）	
<ul style="list-style-type: none"> ・初めは、指示を出す生徒が「こっち」や「違うよ」と自分の視点で言葉を伝えていたが、目隠しをしている生徒は、全く見えておらず言葉できちんと伝えないと顔が完成しないことをしっかりと伝え、繰り返し行うことで、相手に伝わる言葉で伝えることができるようになった。 	
教材の工夫や改善点	
<ul style="list-style-type: none"> ・指示を出す生徒が、自分の思いと少しでも違っていると何度も納得がいくまで指示しようとするところがあるので、指示は5回までと決めていた。 ・出来上がったときに変な顔になっていても、それが福笑いというゲームであることを最初に伝えた。 	
備考（材料・参考資料など）	
<ul style="list-style-type: none"> ・教室・家庭でいまずぐ使える SST（かもがわ出版） 	
おすすめしたい学年	中学部 高等部